

# SA・PAの機能強化

## SA・PAにおける防災・救急医療の支援

新東名高速道路のSA(サービスエリア)やPA(パーキングエリア)では、事故や災害等が発生した際の緊急活動を速やかに実施するための防災支援機能が確保されています。

東日本大震災では、実際に高速道路のSA・PAが、消防隊や自衛隊の中継基地として利用され、地域の防災拠点として、救助・救援活動に貢献しました。

なお、現在、建設中の岡崎SA(仮称)、設楽原PA(仮称)では、愛知県内の高速道路休憩施設で初めてのヘリポートの設置が予定されています。

### ■新東名高速道路サービスエリアの防災支援機能〔例:新東名 駿河湾沼津SA〕

③ 防災備蓄倉庫

① 緊急活動時に利用できる緊急開口部

⑦ 防災拡声設備(スピーカー)

④ ヘリポート

② 24時間分の燃料を常備した自家発電設備

⑥ 受水槽及び緊急時取水可能とする非常用水栓

⑤ 緊急活動をサポートするガソリンスタンド

④ ヘリサイン

⑧ 非常電話

⑨ 井戸設備

①	緊急開口部
②	自家発電設備
③	防災備蓄倉庫
④	ヘリポート・ヘリサイン
⑤	ガソリンスタンド
⑥	受水槽及び非常用水栓
⑦	防災拡声設備
⑧	非常用電話
⑨	井戸設備

出典: (国土交通省中部地方整備局資料)

### ■東日本大震災における高速道路のSA・PAの利用状況

〔消防隊の中継基地として利用された東北自動車道:羽生PA〕



出典: 東日本大震災における高速道路のSA・PAの利用状況(東日本大震災を踏まえた緊急援護(チーオ案)) (国土交通省 高速道路のあり方検討有識者会議)

〔自衛隊の中継基地として利用された常磐自動車道:四倉PA〕



### ■ヘリポートを活用した訓練の様相



出典: 静岡県航空支援訓練の様相-遠州森町PA(2013年2月5日) (中日本高速道路株式会社)

緊急時には新東名高速道路(愛知県区間)のSA・PAを活用して迅速な対応が可能になると期待されます。